

| | |
|----------|---|
| 協定企業名 | 東京海上日動火災保険株式会社 |
| 交流行事名 | 「東京海上日動 未来への森」森林保全活動 |
| 開催日時 | 平成28年11月12日(土) 10:50～15:40 |
| 開催場所 | 安芸市東山森林公園内 |
| 主な参加者・人数 | 東京海上日動火災保険株式会社の社員、ご家族(61名)、高知東部森林組合(6名)、安芸市緑と水の会(3名)、安芸市(14名)、安芸市の皆さん(9名)、高知県(3名) 総勢 96名 |
| 交流活動の概要 | 協働の森概要説明、森林学習、間伐作業 |
| 当日の様子 | <p>東京海上日動火災保険株式会社は三菱グループの創業者岩崎弥太郎の出身地安芸市と協働の森パートナーズ協定を締結して8年目となります。</p> <p>当日は、間伐作業には暑いくらいの好天に恵まれました。県外から初めて高知県・安芸市に来られた社員の方を含め、ご家族、代理店の方と合わせて、これまでで最多の総勢61名の方にご参加いただきました。</p> <p>開会式は、高知東部森林組合安芸支所の会議室で行われました。式では、東京海上日動火災保険株式会社の岩崎専務取締役から団長として開会の挨拶が、安芸市の横山市長からは歓迎の挨拶がありました。安芸林業事務所職員から森林の機能や間伐の必要性、方法などの説明が行われた後、参加された皆さんが自己紹介を行いました。雨天のため間伐作業ができなかった昨年度に引き続き参加いただいた皆さんからは、昨年度の分も取り返して間伐する意気込みが示されました。</p> <p>開会式終了後、体験活動を行う東山森林公園へバスなどに分乗して移動。体験活動の前に昼食となりました。昼食では、森林組合の方が自ら友釣りで掛けた伊尾木川のアユを土佐備長炭で塩焼きし、アツアツの豚汁、お弁当と一緒にいただきました。伊尾木川のアユは全国利きアユ大会で準グランプリを受賞されたということで、さすがの美味でした。</p> |
| |     |



昼食後、記念撮影を行い、いざ出発!!森林公園内を移動し、6班に分かれ、間伐現場へ。中には現場まで歩いて15分かかる班もありました。それぞれ現場で森林組合の指導を受けながら、手ノコでの間伐作業を行いました。

現場は結構な傾斜があり、足場を確保するのに一苦労なところも。また、60年生に近いヒノキはなかなか手強く、社員の皆さんが交代でノコを入れていきました。まず受け口を作ります。水平に下切りを入れてから、次に斜め切りを入れます。続いて、慎重に方向を確認したうえで追い口を入れていきます。つるを残して、定めた方向にゆっくりと倒れはじめますが、かかり木になって、なかなか倒れてくれません。時にはチェーンソーの力も借りながら、なんとか伐倒できると、拍手と歓声が起こっていました。皆さん、間伐作業の大変さを身をもって体感されたのではないのでしょうか。2時間たっぷり間伐作業を満喫した後は、日本一の生産量を誇る安芸市のユズが使われたユズジュースをいただきました。現場にはヒノキの香りが漂い、皆さん、爽快な気分を味わわれたようでした。



間伐体験のあとは、野良時計を見学してからホテルへ。ホテルの大浴場ではユズ湯のサービスがありました。

そして、1日目の終わりは、お待ちかねの交流会です。

安芸市特産のナス料理や、しらす丼、新鮮なお刺身など、地元ならではのご馳走に皆さん大満足。ちりめんドンちゃんに扮した司会者も場を盛り上げてくれました。

余興では、「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会による岩崎弥太郎の紙芝居の上映や、弥太郎太鼓の演奏が行われ、また、今回の間伐作業の様子がスライドショーで紹介されました。社員の皆さんによる弥太郎太鼓の体験演奏もあり、大いに盛り上がりました。最後は、土倉高知支店長の締めの音頭で交流会は閉会となりました。



翌日は、岩崎弥太郎ゆかりの地を訪れ、松の植樹や海岸の清掃活動を行っていただき、交流活動は終了となりました。

昨年度の雨の中での記憶に残る体験に引き続き、今年度は過去最多の皆さんのご参加をいただき、記録に残る体験となりました。

参加された皆さん、準備して下さった皆さん、2日間お疲れさまでした。来年も是非、安芸市にお越しください。